

JA共済は、共済事業と社会貢献活動を通じて、組合員・地域の皆さまが健康で安心して暮らせる豊かな環境づくりに貢献していきたくと考えています。

交通事故対策活動

「介助犬」の育成・普及支援

交通事故などにより手足に障がいのある方の日常生活をお手伝いする「介助犬」の育成・普及支援に取り組んでいます。いま介助犬を必要としている方は全国で約1万5千人と言われていますが、正式認定犬はわずか46頭しかいません(平成21年4月1日現在 厚生労働省調べ)。JA共済では、介助犬の受け入れに対する理解を促進するための活動を通じ、障がいのある方の自立と社会参加を支援しています。



交通安全教室

幼児向けには楽しい歌と踊りで交通ルールを学べる交通安全教室(親子の交通安全ミュージカル「魔法園児マモルワタル」)、高齢者向けには楽しみながら交通安全への意識を高めていただく交通安全教室(「交通安全落語」や「敏捷性測定」「交通安全体操」など)を全国各地で開催しています。



リハビリテーション

静岡県中伊豆と大分県別府にあるJA共済の2つのリハビリテーションセンターは、「病院」「福祉施設」「介護施設」の3つの機能を持った全国でも数少ない総合型の施設です。設立以来、30年以上にわたって交通事故被害者などの社会復帰をお手伝いしています。

健康管理・増進活動

「笑い与健康」教室

近年「笑うこと」が健康に良いと医学的にも証明されつつあり、医療現場でも「笑い」が導入され、その効果が明らかになってきました。JA共済では、組合員・地域の皆さまが未永く健康で暮らせるように、「笑い」と「健康増進」の関係に着目したプログラムを開発し、これを取り入れた「笑い与健康」教室を実施しています。



健康・介護ほっとライン 電話相談サービス

フリーダイヤル 0120-481-536

利用時間:月～金曜日(祝日を除く)午前9時～午後8時

○携帯電話やPHSからもご利用いただけます。

○お名前は伺いませんので安心してご利用いただけます。

料金	相談料、通話料ともに無料
健康・介護相談員	看護師、介護支援専門員(ケアマネジャー)
専門相談員	医師(精神科・心療内科を除く)



文化支援活動

JA共済全国小・中学生書道・交通安全ポスターコンクール

心の豊かさや地域社会との絆づくりを大切にするとともに、JA共済の理念である助け合いの精神を次世代に伝えるために実施しています。

書道コンクールは全国最大級の規模で毎年実施しています。第52回(平成20年度)は、144万点を超える応募がありました。



農林水産大臣賞 中1 田中七海さん

交通安全ポスターコンクールを通じて交通安全を広く社会に呼びかけています。第37回(平成20年度)は、16万点を超える応募がありました。



内閣府特命担当大臣賞 小6 杉山美樹さん

環境保全活動

CO2削減への取り組み

平成17年の京都議定書発効にともない、日本では地球温暖化防止のための国民運動「チーム・マイナス6%」プロジェクトをスタートしました。JA共済でも積極的に運動に取り組み、また組合員の方や地域の方々へのPR活動を展開してまいります。

リボンキャンペーン

JA共済では、資源の有効活用と地球環境保護を目的として、事故の修理時のみではなく、一般的な修理や車検の時に、車の損害箇所については新品と交換せず、補修したリサイクル部品を使っただけのよう啓発活動を行なっています。

あなたを見守る JA共済のバックアップ体制

暮らしの保障のことなら何でも相談できる「ライフアドバイザー」をはじめ、まさかのときに頼れる「自動車事故損害調査スタッフ」などの専門スタッフが誠意をもってお応えしています。(*1 平成21年3月末現在 *2 平成20年4月1日現在)

ライフアドバイザー 全国 **21,857**人(*1)
自動車事故損害調査スタッフ 全国約 **5,900**人(*2)
自動車事故相談窓口 全国約 **1,140**か所(*2)

24時間365日 ご契約の自動車の事故やトラブルにも万全サポート フリーダイヤル安心サービス

自動車事故の受付やアドバイスを行なうほか、故障時の緊急修理やレッカー搬送などの手配を行ないます。

フリーダイヤル **0120-258-931**

○全国どこからでも無料。○携帯電話やPHSからもご利用いただけます。

JAの営業時間内は、ご契約先のJAへご連絡ください。なお、救急119・警察110へのご連絡もお忘れなく。
※フリーダイヤル安心サービスは、自動車共済にご加入の方を対象として提供しています。

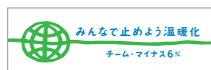
JA共済ホームページ <http://www.ja-kyosai.or.jp>

※詳細な内容は、ディスクロージャー誌「JA共済連の現状2009」をご覧ください。

平成 年 月 日



この冊子は大豆油インクを使用しています。



お問い合わせは、JA(農協)までご連絡ください。

JA共済 安心めっせーじ

JA共済の平成20年度「事業概要」がまとまりましたので、ご報告いたします。



「安心を形にすること」
それがJA共済の使命です。

JA共済は、将来の共済金等のお支払いに備えて、これまで一貫して長期安定的な資金運用に努めてまいりました。このことにより、未曾有の金融危機に際しても責任準備金を積み増すなど、経営の健全性を十分確保することができました。これからも確かな保障力と健全な経営で、皆さまに安心をお届けしてまいります。



平成20年度(平成21年3月末)のJA共済の『事業概要』等について、ご報告いたします。

JA共済は、これからも相互扶助(助け合い)の理念にもとづき、

皆さまに「安心」と「満足」を提供してまいります。

ひと・いえ・くるま、大きく広がった保障の輪



万一の保障はもちろん、医療保障も充実しています。

生命総合共済(保有)

加入件数 **1,387** 万件

保障金額 **177兆1,462** 億円



地震を含む自然災害や火災などの幅広い保障でマイホームを守ります。

建物更生共済(保有)

加入件数 **1,192** 万件

保障金額 **153兆349** 億円



確かな保障と充実したサービスで交通事故に備えます。

自動車共済(保有)

加入件数 **849** 万件

自賠償共済(保有)

加入台数 **700** 万台

お役に立った共済金
(平成20年度のお支払い)

合計 **4兆1,187** 億円 (その他共済計 1,173 億円含む)

万一のときや満期のときなどに共済金をお支払いし、皆さまにお役立ていただいています。

●生命総合共済 万一のお支払い **5,658** 億円
満期等のお支払い **1兆9,541** 億円

●建物更生共済 万一のお支払い **698** 億円
満期等のお支払い **1兆2,244** 億円

●自動車共済 **1,871** 億円

自然災害にも確かな保障

巨大災害などに備えるため、責任準備金として、毎年、異常危険準備金の積み増しを行なうとともに、海外への再保険も行なっています。

〈平成20年度の主なお支払い〉

平成20年6月 岩手・宮城内陸地震(宮城・岩手ほか)
7,933件 / **60億6千万円**

平成20年7月 岩手県沿岸北部地震(岩手・宮城・青森ほか)
1,941件 / **10億5千万円**

〈過去の主なお支払い〉※平成7年以降

平成19年7月 新潟県中越沖地震(新潟・長野ほか)
31,837件 / **314億7千万円**

平成16年9月 台風18号(山口・熊本・福岡ほか)
284,361件 / **1,080億5千万円**

平成11年9月 台風18号(熊本・山口・鹿児島ほか)
179,978件 / **636億9千万円**

平成16年10月 新潟県中越地震(新潟・群馬・福島ほか)
87,622件 / **773億4千万円**

平成16年10月 台風23号(兵庫・岡山・京都ほか)
78,476件 / **404億4千万円**

平成7年1月 阪神・淡路大震災(兵庫・大阪・京都ほか)
101,534件 / **1,188億8千万円**

JA共済の役割

JA共済は、JAとJA共済連がそれぞれ機能を分担し、組合員・利用者の皆さまに密着した生活総合保障活動を行なっています。

組合員・利用者の皆さま

共済掛金のお払込みなど

共済契約

共済金のお支払いなど

JA

- JA共済の窓口です。
- 組合員・利用者の立場に立った事業活動で皆さまをサポートしています。

JA共済

JA共済連

各種の企画、開発、資産運用業務や支払共済金にかかる準備金の積み立てなどを行ない、JAと一体となってJA共済事業を運営しています。

*共済契約は、JAとJA共済連が共同でお引き受けしています。

JA共済の資産状況は?

健全な資産運用を行なっています。

総資産のうち、41兆円余りの運用資産について、安定的な収益を確保できる国債などの公社債を中心に、安全・確実な運用を行なっています。



総資産 **43兆2,104** 億円

公社債 **81.3%**

運用資産 **41兆2,762** 億円

将来の共済金の支払いは?

責任準備金の十分な積み増しを行なっています。

JA共済連では、経営の健全性を確保するため、不良債権の償却などを行なったうえで、将来の共済金のお支払いに必要な責任準備金の積み立てを適正に行なっています。また、責任準備金として、毎年、異常危険準備金の積み増しを行なうとともに、再保険も行ない、巨大災害などに備えています。

責任準備金 **39兆9,903** 億円

総資産の「9割以上」を責任準備金にあてています。

JA共済のリスク対応力は?

支払余力は十分な水準となっています。

支払余力(ソルベンシー・マージン)比率

860.4%

■支払余力(ソルベンシー・マージン)比率計算式

$$\text{支払余力(ソルベンシー・マージン)比率} = \frac{\text{支払余力(ソルベンシー・マージン)総額}}{\text{リスクの合計額}} \times 100$$

支払余力(ソルベンシー・マージン)比率とは?

通常の予測を超えて発生する諸リスク(巨大災害など)に対応するため、どのくらいの支払余力を備えているかを判断するための経営指標の1つです。JA共済では、生命共済事業と損害共済事業の両方を実施しているため、生命保険会社または損害保険会社のソルベンシー・マージン比率と単純に比較はできません。なお、この比率が200%を下回った場合には、行政庁によって経営の健全性の回復をはかるための措置がとられます。